

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年12月17日(2009.12.17)

【公表番号】特表2009-516428(P2009-516428A)

【公表日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【年通号数】公開・登録公報2009-015

【出願番号】特願2008-540201(P2008-540201)

【国際特許分類】

H 04 L 12/56 (2006.01)

【F I】

H 04 L 12/56 100Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月30日(2009.10.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザ機器において実装された方法であって、
媒体に依存しないハンドオーバ(MIH)ポイント・オブ・サービス(POS)へのリンクをOAM(Operation, Administration and maintenance)ピアとして確立するステップと、
OAMプロトコルを使用することによって、前記MIH POSへの前記リンクのリンク状態を監視するステップと、

前記リンク状態の変化の検出に応じて、前記リンク状態を示すOAMトリガをMIHイベントにマッピングするステップと、

前記MIHイベントを上位レイヤに報告するステップとを備えることを特徴とする方法。

【請求項2】

前記OAMプロトコルはIEEE 802.3ahであることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】

802.3ahリンク・アップ・イベントが、MIHリンク・アップ・イベントにマッピングされることを特徴とする請求項2に記載の方法。

【請求項4】

802.3ahリンク障害イベントが、MIHリンク・ダウン・イベントにマッピングされることを特徴とする請求項2に記載の方法。

【請求項5】

802.3ahダイイング・ギャスプ・イベントが、MIHリンク・ゴーイング・ダウン・イベントにマッピングされることを特徴とする請求項2に記載の方法。

【請求項6】

前記OAMプロトコルは、IEEE 802.1agであることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項7】

リンク状態の変化が検出されたことを示す802.1agオブジェクトが、MIHリンク・アップ・イベントにマッピングされることを特徴とする請求項6に記載の方法。

【請求項 8】

M E P (management end point) が 1 つまたは複数の M E P との交信を途絶していることを示す 8 0 2 . 1 a g オブジェクトが、M I H リンク・ダウン・イベントにマッピングされることを特徴とする請求項 6 に記載の方法。

【請求項 9】

M I H リンク・ゴーイング・ダウン・イベントが、障害を示す前に失われた可能性がある接続性チェック・フレームの数を示す 8 0 2 . 1 a g オブジェクトに基づいて生成されることを特徴とする請求項 6 に記載の方法。

【請求項 10】

前記 M I H P O S への前記リンクは、8 0 2 . 1 D ブリッジ・ネットワークを介することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

前記 M I H P O S への前記リンクは、8 0 2 . 1 Q ブリッジ・ネットワークを介することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 12】

ユーザ機器であって、

U E と、媒体に依存しないハンドオーバ (M I H) ポイント・オブ・サービス (P o S) と、の間のリンクを、O A M (Operation, Administration and maintenance) ピアとして確立し、

O A M プロトコルを使用して前記 M I H P o S への前記リンクのリンク状態を監視し、

前記リンク状態の検出された変化を示す O A M トリガを送る、

ように構成される下位レイヤ・エンティティと、

前記 O A M トリガを M I H イベントにマッピングするように構成され、かつ前記 M I H イベントを上位レイヤに報告するように構成される、M I H エンティティとを備えることを特徴とするユーザ機器。

【請求項 13】

前記 O A M プロトコルは I E E E 8 0 2 . 3 a h であることを特徴とする請求項 1 2 に記載のユーザ機器。

【請求項 14】

8 0 2 . 3 a h リンク・アップ・イベントが、M I H リンク・アップ・イベントにマッピングされることを特徴とする請求項 1 3 に記載のユーザ機器。

【請求項 15】

8 0 2 . 3 a h リンク障害イベントが、M I H リンク・ダウン・イベントにマッピングされることを特徴とする請求項 1 3 に記載のユーザ機器。

【請求項 16】

8 0 2 . 3 a h ダイイング・ギャスプ・イベントが、M I H リンク・ゴーイング・ダウン・イベントにマッピングされることを特徴とする請求項 1 3 に記載のユーザ機器。

【請求項 17】

前記 O A M プロトコルは、I E E E 8 0 2 . 1 a g であることを特徴とする請求項 1 2 に記載のユーザ機器。

【請求項 18】

リンク状態の変化が検出されたことを示す 8 0 2 . 1 a g オブジェクトが、M I H リンク・アップ・イベントにマッピングされることを特徴とする請求項 1 7 に記載のユーザ機器。

【請求項 19】

M E P (management end point) が 1 つまたは複数の M E P との交信を途絶していることを示す 8 0 2 . 1 a g オブジェクトが、M I H リンク・ダウン・イベントにマッピングされることを特徴とする請求項 1 7 に記載のユーザ機器。

【請求項 20】

M I H リンク・ゴーイング・ダウント・イベントが、障害を示す前に失われた可能性がある接続性チェック・フレームの数を示す 802.1ag オブジェクトに基づいて生成されることを特徴とする請求項 17 に記載のユーザ機器。

【請求項 21】

前記 M I H P O S への前記リンクは、802.1D ブリッジ・ネットワークを介することを特徴とする請求項 12 に記載のユーザ機器。

【請求項 22】

前記 M I H P O S への前記リンクは、802.1Q ブリッジ・ネットワークを介することを特徴とする請求項 12 に記載のユーザ機器。